

## 北原産業

# テイクアウト容器拡充

## 中皿使い効率化、訴求力向上

北原産業（岡山県倉敷市、☎086・526・3040）は、テイクアウト容器のラインアップを拡充し営業提案を加速している。レンジ対応タイプのKFシリーズに、新たに「KF-54黒」を加え、4タイプのPP製中皿容器と共に提案活動を



「KF-54黒」と4タイプの  
の中皿容器

本格化。中皿の組み合わせでメニューバリエーションが図れ、ディナー、ランチ、スイーツなど幅広いジャンル  
の容器として引き合いが増加している。

KFシリーズはPPファイラーを素材とした外嵌合タイプの弁当容器。「白」「黒」「朱」や独自性の高い「かすが」などの色柄、形状、多くの仕切りをそろえたレンジ対応容器として好評を得ている。

新たに提案を始めた「KF-54黒」は楕円状本体に、A、B、C、Dの4種類の中皿を用意。和洋中といった料理や、スイーツなど全てのジャンルに適した「食」シーンを提供する機能性の高い容器として形状設計されている。

とりわけ、独自性の

高い中皿容器には本体を真半分に区分する「KF-54中皿A」、斜めに区分する「同B」、左右を大小に区分する「同C」、「同D」をそろえた。

例えば、「カツカレー」は中皿Aにカレーを残り部分に飯とカツを盛りつけたり、「天ぷら蕎麦」では斜めに容器を区分する中皿Bに天ぷらを入れ、残りスペースにそばを盛りつけたり、中皿を盛ることによって店頭での商品訴求力が格段に向上。合わせて使用する中皿に料理を盛り付け、カセット式に本体に装填するなど業務の効率化などが期待できる。同社では今後、製品特性を関係業界に周知しながら、拡販に力を注ぐ考え。